

かつしか 区議会だより

第1回定例会

2月	18日	本会議（議案の付託等） 予算審査特別委員会
	19・21日	常任委員会（保健福祉、建設環境、文教、総務）
	24日	議会運営委員会
	25日	本会議（代表質問・一般質問）
	26日	本会議（一般質問、議案の議決等）
3月	28日	予算審査特別委員会
	3～6・10日	
	11～14日	常任委員会（保健福祉、建設環境、文教、総務）
	18・19・24日	特別委員会（地方分権・行革、危機管理対策、都市基盤整備）
	26日	議会運営委員会
	27日	本会議（議案の議決等）

主な内容 2・3面…代表質問 3・4面…一般質問 5～7面…予算特集 8面…可決された議案ほか

No.219 平成26年（2014年）4月25日発行 葛飾区議会 〒124-8555 葛飾区立石5-13-1 ☎3695-1111 FAX 5698-1543



上千葉砂原公園

平成26年度予算が成立

災害時多目的船の導入を 求める意見書などを可決

今回の定例会では、区長の所 一般会計予算をはじめとする
信表明を受け、5会派からの 区長提出議案21件と、災害時
代表質問と、10名の議員から 多目的船の導入を求める意見
一般質問が行われました。 書など、議員提出議案7件が
また、平成26年度葛飾区 可決されました。

可決された意見書（要旨）

今回の定例会では次の意見書6件を可決し、関係機関に送付しました。
(件名の下のは意見の分かれた意見書です。各会派の賛否は8面に掲載)

災害時多目的船の導入を求める意見書

政府に対し、次の事項について適切な措置を講じるよう強く求める。①海上自衛隊や海上保安庁の医療機能を持つ艦船や民間船舶の活用を含めた災害時多目的船の早期導入に向け、具体的な工程表を作成すること②平成25年度実証事業を踏まえての検討課題を早急にとりまとめること③平成26年度実証事業については、民間船舶を活用するとともに、陸上医療機関との連携、被災港湾の開削、必要人員の確保や機材の配備等、実際の災害を想定して実施すること

食の安全・安心の確立を求める意見書

国会及び政府に対し、次の事項について適切な措置を講じ、食品に係る安全性の一層の確保に努めるよう強く求める。①食品表示等の適正化を図る食品表示法等改正案の早期成立・施行を図ること②消費者庁を中心とした十分な体制を確立するとともに、そのための必要な予算措置を講ずること③一層の食の安全と安心を図るため、関係法令の改正も視野に総合的かつ具体的な検討を行うとともに、関係事業者等の果たすべき責任を明確に定めること

2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会に向けた環境整備及び地域における取り組みへの支援を求める意見書

政府に対し、次の各項目の実施を強く求める。①日本全国に東京大会開催の効果が波及するよう努めること②パラリンピック選手の国際競争力向上を図るための専用トレーニングセンターを新設すること③また、スポーツを科学的に研究支援する施設の地方拠点を設けること④自治体が進めるスポーツを活用した「まちづくりや地域づくり」に対し支援を行うこと⑤国際空港の機能拡充やアクセス強化に向け、京成本線の高架化を含めた交通インフラの整備、ハード・ソフト両面にわたるバリアフリー環境の促進など、真に必要な社会基盤整備を計画的に実施すること

微小粒子状物質（PM2.5）に係る総合的な対策の推進を求める意見書

政府に対し、次の各項目の実施について強く求める。①PM2.5の発生源の実態や構成成分の解明をした上で、法律に基づく国民に分かりやすい注意発令の仕組みを整備するとともに、環境基準を維持できるように国内外の発生抑制対策を推進すること②国と地方自治体との連携を強化し、情報共有を図りながら、モニタリング体制の整備を推進すること③PM2.5による肺機能や呼吸器系症状等への健康影響に関する調査研究を進めるとともに、研究結果に基づき指針等の見直しについては、速やかに実施できる体制を整備すること

都市農業の振興及び農地の保全に関する意見書

国会及び政府に対し、都市農業振興の根拠法となる「都市農業・都市農地基本法（仮称）」の早急な制定を強く求めるとともに、現行の都市農地制度や相続税制度等の改善を行うなど、都市農業の振興と都市農地の保全のために必要な措置を講ずるよう強く求める。

地域の中小企業の支援を求める意見書

国会及び政府に対し、次に挙げる施策の実施を強く求める。①世界を目指す起業・創業、若手・女性等の起業・創業、第二創業といった様々な段階の起業を促進する施策、創業時・創業後の経営面の知識サポートの技術強化、ベンチャーに挑戦する人材を鍛え、市場志向で新事業を創出する「場」の創設等を実施すること②中小企業の人材確保・育成・定着を支援するため、地域中小企業がこれらを推進するための一貫した支援や、若手・主婦層に対する長期インターンシップを実施する中小企業の支援を行うこと③マイスター制度の創設、ものづくり指導者養成・活用による技術・技能継承の推進等を行うこと④中小企業を支援する税制（事業承継、印紙税、交際費課税等）の改善、中小企業の代表者本人以外の第三者連帯保証人を廃止し、代表者保証のみで融資が完結する制度を創設する等、万全の体制で資金繰りを支援すること⑤「消費税の円滑かつ適正な転嫁の確保のための消費税の転嫁を阻害する行為は是正等に関する特別措置法」を的確に実施する等、十分な措置を講ずること

政治家の寄附は、禁止されています。また、暑中見舞等時候の挨拶状（答礼のための自筆のものを除く）を出すことも禁止されています。

議員等政治家が、お祭り、親睦旅行会、会合などの行事に寄附や差し入れ等をしたり、お祝い金（出産・新築等）、贈り物（お中元・お歳暮等）をすることは、公職選挙法により罰則をもって禁止されており、要求した人も罰せられます。

区政を聞く代表質問(要旨)

自由民主党議員団

堅実な財政運営と公共施設の
効果的な活用・更新を求める

財政運営

問 都区財政協議における区側の提案に
対する都側の回答について伺う。
答 区側の50項目の提案のうち、防災備
蓄経費や認可保育所運営費等事業費
木密地域や燃焼事業など42項目の協
議が整った。

問 財政調整交付金をはじめとする歳入
見込みと、今後の経済動向をどのよ
うに認識しているのか伺う。
答 景気の回復傾向や税制改正等を反映
して過去最大の予算を支える歳入と
して過去最大の予算を支える歳入と
して過去最大の予算を支える歳入と
して過去最大の予算を支える歳入と

問 新たな公共施設活用の推進体制と財
源確保
答 新たな公共施設活用の推進体制と財
源確保

問 区民生活応援の区政を
答 区民生活応援の区政を

日本共産党葛飾区議会議員団

安倍政権の暴走許すな
区民生活応援の区政を

問 区長の基本的政治姿勢
答 区長の基本的政治姿勢

問 安倍首相は、2月12日の衆議院予算
委員会でも立憲主義を否定する答弁を
行ったことは、民主主義の土台を揺
り崩す暴挙である。この発言に対す
る区長の見解を伺う。
答 区長の見解を伺う



問 他府県に比べて、立憲主義の否定ではな
く、首相として政府としての答弁に
責任を持つという意味であり、国会
の場において十分に議論がなされる
べきものと考えている。

来年度予算

問 国民健康保険料・後期高齢者医療保
険料の値上げについて伺う。

自由民主党議員団

ふるさと葛飾を支える次世代を担う
子どもたちの教育の重要性

問 葛飾区立の公立小学校の教育の質
を向上させるための施策について伺
う。
答 「かつしか宣言」と「葛飾スタ
ンダード」が大きな特徴である。

問 葛飾区立の公立小学校の教育の質
を向上させるための施策について伺
う。
答 「かつしか宣言」と「葛飾スタ
ンダード」が大きな特徴である。

問 葛飾区立の公立小学校の教育の質
を向上させるための施策について伺
う。
答 「かつしか宣言」と「葛飾スタ
ンダード」が大きな特徴である。

り方を検討した上で、各組織が連携
して、施設活用計画や改築計画、中
長期的修繕計画等を作成し、施設の
更新、長寿命化に取り組んでいく。
※他の質問項目 特定目的基金への計
画的な積立



葛飾区総合庁舎

問 今後の災害対策における本部体制の
強化
答 今後の災害対策における本部体制の
強化

問 危険管理・減災対策推進委員会にお
いて、どのような議論がなされ、地
域防災計画の見直しにおいて、どの
ような役割を担っているのか伺う。
答 危険管理・減災対策推進委員会にお
いて、どのような議論がなされ、地
域防災計画の見直しにおいて、どの
ような役割を担っているのか伺う。

問 除料に、独自の補助制度を創設すべ
きと思うがどうか。
答 除料に、独自の補助制度を創設すべ
きと思うがどうか。

問 若者サポートステーションを設置し、
雇用対策の拡充を求めるがどうか。
答 若者サポートステーションを設置し、
雇用対策の拡充を求めるがどうか。

問 若者サポートステーションを設置し、
雇用対策の拡充を求めるがどうか。
答 若者サポートステーションを設置し、
雇用対策の拡充を求めるがどうか。

問 若者サポートステーションを設置し、
雇用対策の拡充を求めるがどうか。
答 若者サポートステーションを設置し、
雇用対策の拡充を求めるがどうか。

問 若者サポートステーションを設置し、
雇用対策の拡充を求めるがどうか。
答 若者サポートステーションを設置し、
雇用対策の拡充を求めるがどうか。

自由民主党議員団

問 子育て環境の充実
答 子育て環境の充実

子育て環境の充実

問 どのような事業に重点を置き、子育
て支援を推進していくのか、区長の
見解を伺う。
答 どのような事業に重点を置き、子育
て支援を推進していくのか、区長の
見解を伺う。

問 潜在的な保育需要を見据え、小規模
認可保育所を整備に加え、小規模保
育所を整備していくのか、区長の
見解を伺う。
答 潜在的な保育需要を見据え、小規模
認可保育所を整備に加え、小規模保
育所を整備していくのか、区長の
見解を伺う。

問 在宅療養者搬送支援事業
答 在宅療養者搬送支援事業

問 金町駅周辺の街づくりと鉄道問題
答 金町駅周辺の街づくりと鉄道問題

問 金町駅周辺の街づくりと鉄道問題
答 金町駅周辺の街づくりと鉄道問題

問 金町駅周辺の街づくりと鉄道問題
答 金町駅周辺の街づくりと鉄道問題

問 金町駅周辺の街づくりと鉄道問題
答 金町駅周辺の街づくりと鉄道問題

自由民主党議員団

問 子育ての充実
答 子育ての充実

子育ての充実

問 子育ての充実
答 子育ての充実

問 子育ての充実
答 子育ての充実

問 子育ての充実
答 子育ての充実

問 子育ての充実
答 子育ての充実

問 子育ての充実
答 子育ての充実

問 子育ての充実
答 子育ての充実

問 子育ての充実
答 子育ての充実

自由民主党議員団

問 子育ての充実
答 子育ての充実

子育ての充実

問 子育ての充実
答 子育ての充実

問 子育ての充実
答 子育ての充実

問 子育ての充実
答 子育ての充実

問 子育ての充実
答 子育ての充実

問 子育ての充実
答 子育ての充実

問 子育ての充実
答 子育ての充実

問 子育ての充実
答 子育ての充実

自由民主党議員団

問 子育ての充実
答 子育ての充実

子育ての充実

問 子育ての充実
答 子育ての充実

問 子育ての充実
答 子育ての充実

問 子育ての充実
答 子育ての充実

問 子育ての充実
答 子育ての充実

問 子育ての充実
答 子育ての充実

問 子育ての充実
答 子育ての充実

問 子育ての充実
答 子育ての充実

ツクスを設置する準備を進める。
※他の質問項目 不法投棄防止 など

花いっぱいまちづくり

問新年度予算における活動団体への支援の具体的な内容を伺う。

答活動用具の貸与制度創設やアドバイザー制度導入などで活動を支援する。

※他の質問項目 スピード感ある取り組み など

他の質問項目 就学援助費の見直し、小菅・堀切・南綾瀬地域の地区図書館

日本共産党葛飾区議会議員団

住民本位のまちづくり

くらし応援、福祉の充実

災害に強いまちづくり

問高砂南地区、四つ木地区の計画には、全戸訪問して、住民の意見を反映させる仕組みを作るべきかどうか。

答アンケート調査の結果や説明会での意見を計画に反映させたい。

※他の質問項目 地区計画対象地域

耐震改修助成制度

問大幅な助成額の拡充と補助率の引き上げ等をすべきと思うがどうか。

答耐震診断についてはすでに全額を補助している。来年度も改修費用の助成制度を拡充する予定である。

※他の質問項目 新耐震基準の建物の耐震補強工事費助成 など

放射能対策

問東京都に対し、水元公園の定点測定再開と区の除染基準を上回る地点の除染を要請すべきかどうか。

答区民からの放射線量測定や必要に応じた除染に関する要望を東京都に対し伝えている。

空き家対策

問独自に、賃貸など二次的住宅以外の空き家の実態調査や所有者へのアンケートを実施してはどうか。

答問題発生が危惧される空き家の実態調査の準備を進めている。

※他の質問項目 密集事業



管理されていない空き家

※他の質問項目 条例制定 など

高齢者支援

問北区の取り組みを学び65歳以上の高齢者実態調査を行ってはどうか。

答本区もきめ細かな調査を行っており、実施する考えはない。

※他の質問項目 介護保険制度改定の撤回 など

政策 葛飾

大規模災害を常に意識し
実用性・実効性のある対策を

防災・危機管理

問地域防災計画の見直しでは、どのような災害が想定され、各々の災害に対する計画がどう反映されているか。

答放射性物質対策や大規模事故、火山対策を新たに記載した。災害対策本部マニュアル見直しなどを進め、地域防災計画に位置付けた考え方や事業の実現に向けた取り組みを継続する。

※他の質問項目 かつしかFMの防災時の活用 など

四つ木・立石地域の街づくり

問連続立体交差事業の遅れの理由、今後の工程と完成までの期間を伺う。

答立石駅前区間の用地確保の合意形成に時間を要している。工程などについて都及び京成電鉄と協議を進め、平成35年3月の工事完了を目指す。

※他の質問項目 密集事業



高架下の地域活用（青戸高架下集い交流館）

※他の質問項目

保健所、保健センターのサービス向上策

問サービス向上策の検討の経緯と課題、今後の再編スケジュールを伺う。

答素案報告後、具体化に向けて保健所で検討している。課題は区民ニーズに沿ったサービス向上策と具体的なサービスの提供方法。今後検討を重ねてスケジュールは改めて示す。

※他の質問項目 保健センターの役割 など

葛飾区の放射線対策

問区の放射線対策は継続的に取り組んでもらいたい。考えを伺う。

答空間放射線量の定点測定のほか様々な対策を引き続き実施するとともに子どもたちに関する対策も行う。

※他の質問項目 妊婦などへの啓発

民主党 葛飾

減災対策、不登校対策の取り組みや
保育ママペースの拡充を

地域特性をふまえた今後の減災対策
問地域別地域防災会議の目的と現状の到達点、また、最終年度である来年度の成果見込みについて伺う。

答住民主体で地域ぐるみの防災ネットワークを構築し、地域防災力の向上を図ることが目的である。モデル地区では、避難所運営を中心とした取り組みや情報の共有化、共通課題の抽出などを進めており、来年度は、防災対策や情報収集・発信などの仕組みづくりを目指し取り組んでいく。

※他の質問項目

※他の質問項目 防災案内看板 など

小・中学校教育における教育委員会の姿勢

問不登校対策に対する視点、来年度以降の方向性について伺う。

答自尊心や自己肯定感を育む教育を推進し、一人ひとりに応じた指導を組織的に行い、不登校児童・生徒の減少、ゼロに向け取り組んでいく。

※他の質問項目 インフルエンザ対策 など

子育てコンシェルジュの導入と保育ママペースの拡充

問待機児童が多い地域では小規模保育を活用する必要がある。保育ママペースの拡充について見解を伺う。

答本年4月に区内初の家庭的保育事業所（保育ママペース）を開業する。今後も地域の実情に応じた整備を進めていく。

※他の質問項目 子育てコンシェルジュの導入



保育ママと子どもたち

※他の質問項目

無所属（※2）

徹底した情報公開と
悪しき前例の改善を

葛飾区役所総合庁舎建て替え
問建築需要が高まり総事業費の増大が想定される中、現庁舎を使用するまで使うと方針転換すべきではないか。

答方針転換すべきとは考えていない。

※他の質問項目 整備費用の総事業費

※他の質問項目

本区におけるスポーツ施設等の優先
利用・学校の施設開放

問公平性を担保するためにも、どの団体がどういう目的で使うのか年間スケジュールをホームページで公開して透明化を図るべきではないか。

答利用団体と調整しながら検討する。

※他の質問項目 学校施設開放の情報公開 など

無所属（※3）

労働者の生活・雇用を守るため
公契約条例の制定を

公契約条例の制定
問賃金条項を取り入れた公契約条例の制定は、幅広い労働者の生活・雇用の安定に効果的と思うがどうか。

答民間労使への関与の問題や区内中小零細企業への影響も大きいため、今後対応を検討する。

※他の質問項目 低賃金対策 など

※他の質問項目

無所属（※4）

知的障害者が地域で生きるための
支援といじめ防止の取り組み

知的障害者の都外施設の入所状況と
今後のあり方
問施設退所後の支援について伺う。

答地域生活に移行できるよう支援する。

※他の質問項目 施設入所者人数

無所属（※2）

区営住宅での白骨遺体発見
問生活協力を取り巻く環境の検証と
整備が必要と思うがどうか。

答ガイドラインを作成し、報告書についても、より細かく見守ることができるよう改善した。また、協力員だけに負担をかけずに見守りを充実させる方式について検討中である。

※他の質問項目 連携方法等の検証

※他の質問項目

子育て支援

問新制度の下での展開について伺う。

答事業計画の策定に取り組んでいる。

※他の質問項目 改正による変更点

※他の質問項目 自転車事故防止対策



区営シルバーピア住宅

無所属（※4）

知的障害者が地域で生きるための
支援といじめ防止の取り組み

知的障害者の都外施設の入所状況と
今後のあり方
問施設退所後の支援について伺う。

答地域生活に移行できるよう支援する。

※他の質問項目 施設入所者人数

※他の質問項目

無所属（※3）

労働者の生活・雇用を守るため
公契約条例の制定を

公契約条例の制定
問賃金条項を取り入れた公契約条例の制定は、幅広い労働者の生活・雇用の安定に効果的と思うがどうか。

答民間労使への関与の問題や区内中小零細企業への影響も大きいため、今後対応を検討する。

※他の質問項目 低賃金対策 など

※他の質問項目

無所属（※2）

区営住宅での白骨遺体発見
問生活協力を取り巻く環境の検証と
整備が必要と思うがどうか。

答ガイドラインを作成し、報告書についても、より細かく見守ることができるよう改善した。また、協力員だけに負担をかけずに見守りを充実させる方式について検討中である。

※他の質問項目 連携方法等の検証

※他の質問項目



授業中の子どもたち

平成26年度予算の概要

各会計予算

会計	金額	対前年度増減比
一般会計	1,727億1,000万円	0.6%
国民健康保険事業特別会計	533億5,200万円	0.0%
後期高齢者医療事業特別会計	87億6,100万円	4.4%
介護保険事業特別会計	321億200万円	7.1%
駐車場事業特別会計	7億1,730万円	△1.0%
合計	2,676億4,230万円	△0.7%

区民一人当たりの予算額（一般会計）

高齢社会、健康づくり等、福祉と衛生に	154,790円
生涯学習の支援や小中学校の運営などに	34,975円
災害対策や地域活動、文化振興などに	38,160円
道路・公園整備やまちづくりに	21,168円
清掃事業や環境対策に	11,530円
中小企業に対する融資など産業経済に	8,094円
常勤職員の給料等に	59,264円
特別区債の償還などに	17,079円
国民健康保険・介護保険事業などの繰り出しに	38,220円
合計	383,280円

人口は448,186人（平成26年1月1日現在）から算出し、合計には、予備費等が含まれていません。

2月18日の本会議において、平成26年度各会計予算5件を審査するために、39名の議員で構成する予算審査特別委員会が設置されました。

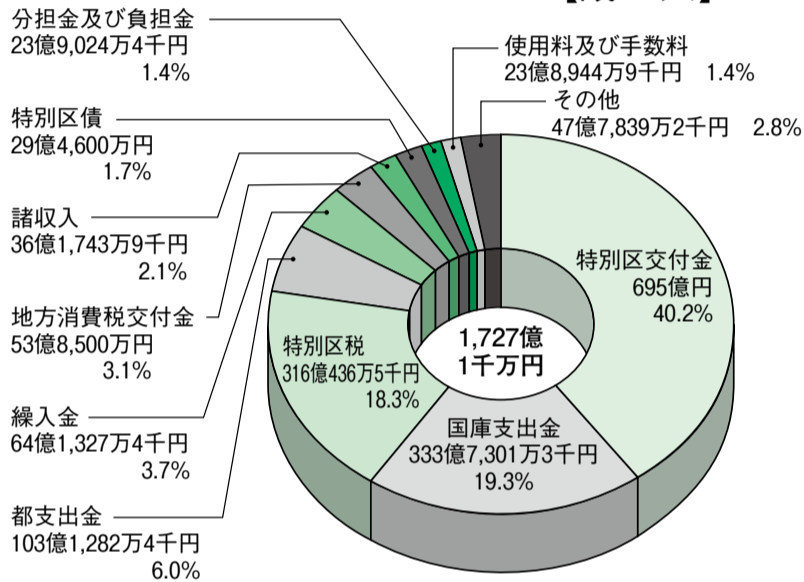
予算案は、2月28日の予算審査特別委員会においての総括質疑の後、4分科会で詳細に審査され、3月10日の予算審査特別委員会において、各分科会長から審査経過の報告を受けた後、各会計予算の採決を行い、いずれも原案のとおり可決すべきものと決定、3月27日の本会議において可決されました。

予算審査特別委員会

平成26年度予算を審査

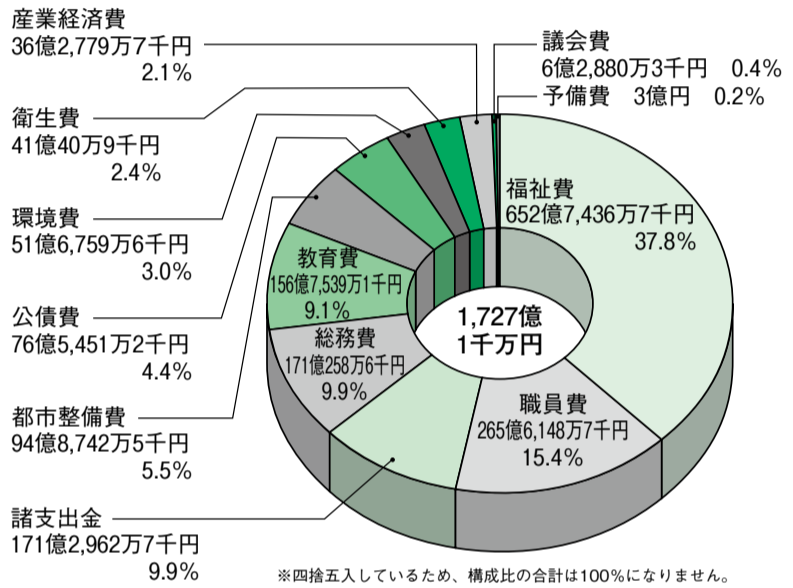
一般会計

【歳入】



※その他は繰越金など。

【歳出】



※四捨五入しているため、構成比の合計は100%になりません。

予算審査特別委員会 委員長報告（要旨）

予算審査特別委員会は、平成26年度各会計予算について審査を行うために、2月18日の本会議において、39名の議員を構成委員として設置されました。当委員会は、詳細な審査を行うために、第1から第4までの4つの分科会を設置しました。

各分科会の審査事項は、第1分科会が一般会計予算のうち、議会費・総務費・産業経済費及び職員費を、第2分科会が福祉費及び衛生費を、第3分科会が環境費及び都市整備費を、第4分科会が教育費、公債費、諸支出金、予備費並びに各特別会計予算を所管しました。

2月28日の委員会では、総括質疑を実施し、10名の委員から区政運営全般について、多角的かつ大局的な観点に立つて質疑が交わされました。

また、3月3日から6日にかけて、各分科会を開催し、所管事項の審査を行いました。審査が終了し、各分科会長から報告書が提出され、3月10日に、当委員会は、各分科会長から審査経過及び各会派からの意見の報告を受けました。

その上で、付託議案5件について順次採決を行い、「平成26年度葛飾区一般会計予算」、「平成26年度葛飾区国民健康保険事業特別会計予算」、「平成26年度葛飾区後期高齢者医療事業特別会計予算」、「平成26年度葛飾区駐車場事業特別会計予算」は、賛成多数で原案のとおり可決すべきものと決定しました。また、「平成26年度葛飾区介護保険事業特別会計予算」は、全会一致で原案のとおり可決すべきものと決定しました。

平成26年度予算に対する各会派の意見

この面から7面までに、平成26年度予算に対する各会派の意見を掲載しました。

自由民主党議員団

「区民第一」の積極的な事業展開を望む

平成26年度予算は、財調交付金の増などによる歳入増により、一般会計予算において1千727億円という過去最大規模の枠組みを確保している。その中で区民に最も身近な基礎自治体として「区民第一・現場第一」をおもてなし、「スピード感」を区政運営の主眼とし、区長が提唱する「夢と誇りあるふるさと葛飾」実現のための事業に対して予算を効果的に配分しており、これを評価する。

展開してほしい。

衛生費 保健センターの再編については、区民ニーズを充足し、業務に支障のないように万全を期されたい。かつしか糖尿病アクションプランについては、高く評価する。各種検診・予防接種は、今後とも拡大を要望する。

産業経済費 東京理科大学との産学公連携推進事業は、本区が「ものづくりのまち」であることを広く周知・発信するため、積極的に支援することを求める。販売経路拡大支援事業経費では、葛飾区元気野菜の無人販売所について盗難も報告されているため、自動販売機導入補助の検討を求める。

都市整備費 金町駅北口周辺地区都市基盤整備計画案の策定について、中・長期的目標である平成30年度の実施計画に向けて進展があったことを評価する。今後とも積極的に取り組んでほしい。京成押上線連続立体交差事業については、仮線用地の確保に努め、まちづくりを進めてほしい。

総務費 夢と誇りあるふるさと葛飾基金積立金は、寄付文化のさらなる醸成のためにも、より効果的なPRを要望する。災害時の情報連絡体制については、簡易無線機や高所カメラをさらに有効活用することで、被害を最小限に食い止めることができるような工夫を求める。地域別地域防災会議については自治町会だけでなく、地域ぐるみのネットワークを構築し、防災意識の啓発や災害時の対応力を高めるための支援を求める。

教育費 小中一貫教育は現状を分析し、今後の方針を決めてほしい。また、既に開校した2校については小中一貫教育の特色を活かしてさらなる充実を求める。学力伸び伸びプランで講師を活用する場合、年度初めから活用できるように運用方法の検討を求める。総合教育センターの組織改正で相談体制が強化されることを大いに期待する。教育施設整備積立基金については、早期に学校改築・改修計画を策定されたい。子ども体力向上プロジェクト推進経費は、子どもの体力低下に危機感があるのでしっかりと取り組んでほしい。校庭の芝生化は、維持管理や利用状況を他の方式も検討したうえで整備することを求める。英語等検定料助成については、中学生の英語以外の検定料助成も検討するよう求める。あたら高原本学園の原状回復義務の免除については、他の自治体とも連携し対応するよう求める。

環境費 水と緑の再生可能エネルギーや地中熱、バイオマスなどの新たなエネルギー導入検討を積極的に進めていることを高く評価する。本区の特性を活かした再生可能エネルギーの活用が提案されることを期待する。集団回収団体支援経費については、今後も地域団体が集団回収活動に取り組みやすい支援に努めてほしい。かつしかエコライフプラザ管理運営については、高く評価する。

福祉費 シルバー人材センターについては、高齢者の雇用・就労確保のよいところとして非常に重要であり、一層の支援を求める。不妊治療助成については、より手厚い援助を要望する。また、認証保育所の認可保育所への移行促進、保育ママベースの拡大、「子ども子育て会議」の活性化などを通じて待機児童ゼロへの取り組みを引き続き

各特別会計については適正に編成されていると認める。

葛飾区議会公明党

区民との協働を進める

予算編成を評価
平成26年度予算案は、「子育て支援の充実」をはじめ「高齢者対策の充実」「安心・安全なまちづくり」「活力あふれるまちづくりの推進」といった取り組みの推進について真摯に向き合い、区民のニーズに応えた予算案として編成されたことを評価します。

環境費 花いっぱいのもちづくり事業
環境費 花いっぱいのもちづくり事業において、区民との協働のもと、緑化意識の向上と各種団体への支援をさらに推進することを求めます。

福祉費 本年10月にできる成年後見センターは、後見・保佐・補助を必要とする人への支援体制の強化に、本事業の拡充を求めます。

環境費 花いっぱいのもちづくり事業
環境費 花いっぱいのもちづくり事業において、区民との協働のもと、緑化意識の向上と各種団体への支援をさらに推進することを求めます。

日本共産党葛飾区議会議員団

増税から区民のくらし

4月から消費税、住民税が増税です。そのうえ、年金引き下げ、70〜74歳の医療費窓口負担割合など負担増となります。一番身近な自治体として、本来社会保障の充実につとめるべきなのに、国保料や後期高齢者医療保険料の大幅引き上げなど、逆行してしまっています。

わが党区議員団は、四〇〇億円の区役所建替えのうち区民生活応援の区政へをかかげ4つの条例提案と予算編成へを動かすことを決意しました。

認知症ヘルププログラムも、3か所の計画から2か所に減らしました。
国が介護保険制度の大改悪を準備している中、区民の切実な願いにこたえ介護の充実を行ってほしいです。

東金町運動場にクラブハウスを整備し、1民間団体に利用させる事も「公の施設」の公平性からも問題です。直ちに是正すべきです。

政策 葛飾

限りある財源の適正執行と

今般、消費税の増税が始まり1〜2年は消費税交付金などにより一時的な増入になるが、今後さらなる消費増税や法人住民税一部国税化等の影響により財政への影響が懸念される。

環境費 緑化推進経費では、官民率等での緑化推進は評価しますが、緑化率等の指標も一部の収集も重要である併せて剪定ごみの処分についての配慮を求める。

福祉費 社会福祉協議会での災害ボランティアセンター設置・運営の課題は明確であり夜間と深夜・早朝の緊急態勢構築や訓練、地域防災計画への反映を求める。

労働環境の向上・命を守る
労働環境の向上・命を守る
労働環境の向上・命を守る
労働環境の向上・命を守る

民主党 葛飾

効果的・効率的な財政運営で、行政サービスの向上と魅力あるまちづくりを

平成26年度予算は、歳入面においては特別区税や特別区交付金が増加し景気状況の好転や復興増徴分、消費税増税などの要因により増加を見込んでいる。一方、法人住民税の一部国税化を受け、将来的には財政運営に大きな課題が生じるものと考えます。

環境費 自然環境等保全の観点から
環境費 自然環境等保全の観点から
環境費 自然環境等保全の観点から
環境費 自然環境等保全の観点から

環境費 自然環境等保全の観点から
環境費 自然環境等保全の観点から
環境費 自然環境等保全の観点から
環境費 自然環境等保全の観点から

環境費 自然環境等保全の観点から
環境費 自然環境等保全の観点から
環境費 自然環境等保全の観点から
環境費 自然環境等保全の観点から

無所属(※1)

少子高齢社会の税収を考え

総務費 総合庁舎整備基金に毎年15億円を積み立て、教育施設整備積立基金の積み立ては減らしている。

福祉費 貧困の世代連鎖を断つため、自立相談支援事業と合わせて学習支援事業(国)が支援も行うべき。

福祉費 貧困の世代連鎖を断つため、自立相談支援事業と合わせて学習支援事業(国)が支援も行うべき。

福祉費 貧困の世代連鎖を断つため、自立相談支援事業と合わせて学習支援事業(国)が支援も行うべき。

無所属(※2)

徹底した情報公開と

本区の組織改正で管理職である部長・課長ポストが7増するが、行車の流れに逆行しており、むしろ減らす努力をすべきである。

福祉費 貧困の世代連鎖を断つため、自立相談支援事業と合わせて学習支援事業(国)が支援も行うべき。

福祉費 貧困の世代連鎖を断つため、自立相談支援事業と合わせて学習支援事業(国)が支援も行うべき。

福祉費 貧困の世代連鎖を断つため、自立相談支援事業と合わせて学習支援事業(国)が支援も行うべき。

無所属(※3)

労働環境の向上・命を守る

労働環境の向上・命を守る
労働環境の向上・命を守る
労働環境の向上・命を守る
労働環境の向上・命を守る

労働環境の向上・命を守る
労働環境の向上・命を守る
労働環境の向上・命を守る
労働環境の向上・命を守る

労働環境の向上・命を守る
労働環境の向上・命を守る
労働環境の向上・命を守る
労働環境の向上・命を守る

労働環境の向上・命を守る
労働環境の向上・命を守る
労働環境の向上・命を守る
労働環境の向上・命を守る

無所属(※4)

災害に強いまちづくりと

未曾有の災害をもたらした東日本大震災は、いまだに深い傷跡を残したままである。

未曾有の災害をもたらした東日本大震災は、いまだに深い傷跡を残したままである。

未曾有の災害をもたらした東日本大震災は、いまだに深い傷跡を残したままである。

未曾有の災害をもたらした東日本大震災は、いまだに深い傷跡を残したままである。

次の定例会は6月開催予定です

可決された議案等

議案名下の分は意見の分かれた議案(各会派の賛否は下欄参照)

【区長提出議案等 21件】

予 算 6件

▼平成26年度一般会計予算分

▼平成26年度国民健康保険事業特別会計予算分

▼平成26年度後期高齢者医療事業特別会計予算分

▼平成26年度介護保険事業特別会計予算

▼平成26年度駐車場事業特別会計予算

▼平成25年度一般会計補正予算(第4号)分

▼平成25年度一般会計補正予算(第4号)分

▼職員の特務手当に関する条例分

▼有毒物取扱手当等を廃止する。事務手数料条例

▼薬事法の改正に伴い、規定の整備をする。

▼災害に際し応急措置の業務に従事した者等に係る損害補償に関する条例等

▼障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律の改正に伴い、規定の整備をする。

▼後期高齢者医療に関する条例

▼介護保険条例

▼地方税法の改正の趣旨を踏まえ、保険料に係る延滞金の割合を改める。

▼学童保育クラブ条例分

▼南新宿学童保育クラブ(新宿二丁目23番4号)を廃止する。

▼区民農園条例

▼水元二丁目第一農園(水元二丁目20番)を廃止する。

▼社会教育委員の設置に関する条例

▼社会教育法の改正に伴い、社会教育委員の委嘱の基準を定める。

▼国民健康保険条例分

▼保険料率を改めるほか、所要の改正をする。

▼その他 5件

▼亀有南駐車場等の指定管理者の指定

▼金町南駐車場等の指定管理者の指定

▼金町駅北口自転車駐車場等の指定管理者の指定

▼特別区道の路線の認定

▼西新小岩二丁目568番20から47の一部まで(延長149.37m)ほか1件

▼東京都後期高齢者医療広域連合規約の一部変更

▼平成26・27年度の保険料軽減のために、関係区市町村の一般会計から負担する経費を規定する。

【議員提出議案 7件】

▼意見書名下の分は意見の分かれた意見書(各会派の賛否は下欄参照)

▼意見書の要旨は一面に掲載

【一部を改正する規程 1件】

▼区議会の震災対策に関する規程

▼災害発生時における議会及び議員の対応について、所要の改正をする。

【意見書 6件】

▼災害時多目的船の導入を求める意見書

▼食の安全・安心の確立を求める意見書

▼2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会に向けた環境整備及び地域における取り組みへの支援を求める意見書

▼微小粒子状物質(PM2.5)に係る総合的な対策の推進を求める意見書

▼都市農業の振興及び農地の保全に関する意見書

【結果の出た請願】

▼地域の中小企業の支援を求める意見書

【不採択 1件】

▼要支援者を介護予防給付から外すことに反対する意見書を求める請願

【お知らせ】

▼議員の住所変更

水摩 雪 絵 議員

白鳥 3-25-7-302

【音声版(デジター版)CDをご利用ください】

視覚障害のある方のために、今号から音声版(デジター版)CDも作成します。ご希望の方はお申込みください。

また現在、点字版・テープ版をご利用の方で、デジター版への変更をご希望の方も、お問い合わせください。

なお、点字版・テープ版の利用も引き続き受け付けております。

【対象】区内在住で視覚障害のある方

【費用】無料

【申込方法】電話か窓口で。

【申し込み・担当課】区議会事務局(区役所2階) 5654-8508

【デジター】

デジターは、目的の記事を選んで再生することができるため、テープ版に比べて便利です。再生には専用のレコーダーが必要です。

身体障害者手帳をお持ちの方がレコーダーを購入する場合は、日常生活用具の給付制度があります。詳しくは障害福祉課(5654-8302)にお問い合わせください。

意見の分かれた案件

(○賛成、×反対、一表決に加わらず)

件名	会派名()内は会派所属議員数										議決結果
	自民(13)	公明(11)	共産(5)	政葛(4)	民主(3)	無※1(1)	無※2(1)	無※3(1)	無※4(1)		
予 算	平成26年度葛飾区一般会計予算										可 決
	平成26年度葛飾区国民健康保険事業特別会計予算	○	○	×	○	○	○	×	○		
	平成26年度葛飾区後期高齢者医療事業特別会計予算										
	平成26年度葛飾区駐車場事業特別会計予算	○	○	×	○	○	○	○	○	○	
	平成25年度葛飾区一般会計補正予算(第4号)	○	○	×	○	○	×	×	×	○	
条 例	職員の特務手当に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	×	○	可 決	
	葛飾区学童保育クラブ条例の一部を改正する条例	○	○	×	○	○	○	×	○		
	葛飾区国民健康保険条例の一部を改正する条例										
そ の 他	葛飾区亀有南駐車場等の指定管理者の指定について	○	○	×	○	○	○	—	×	○	可 決
	葛飾区金町南駐車場等の指定管理者の指定について										
請 願	要支援者を介護予防給付から外すことに反対する意見書を求める請願	×	×	○	×	—	○	×	○	×	不採択
意見書	2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会に向けた環境整備及び地域における取り組みへの支援を求める意見書	○	○	○	○	○	○	×	○	○	可 決

自民=自由民主党議員団、公明=葛飾区議会公明党、共産=日本共産党葛飾区議会議員団、政葛=政策葛飾、民主=民主党葛飾、無=無所属

区議会だよりに記載の会派等の構成議員をお知らせします

会 派 名	構 成 議 員 名									
自由民主党議員団	秋本とよえ六	秋倉家	聡明	安西	俊一	池田	ひさよし	伊藤	よしのり	
	梅平みつよし	岸原	うみえ	小川	大	筒井	たかひさ	新	村	秀
葛飾区議会公明党	荒井彰一	上原	ゆみえ	牛山	正	江口	ひさみ	上	村	やす
	く山本	黒柳	じょう	小	たつや	出口	よしゆき	向	江	すみえ
日本共産党葛飾区議会議員団	天野ゆうや	おりかさ	明実	中江	秀夫	中村	しんご	三小	田	准
政 策 葛 飾	会田浩貞	大高拓	工藤	藤	きくじ	清	水	忠		
民 主 党 葛 飾	かわごえ 誠一	中村 けいこ	米	山	真 吾					
無 所 属 (※1)	うめだ 信利									
無 所 属 (※2)	小林 ひとし									
無 所 属 (※3)	水摩 雪 絵									
無 所 属 (※4)	むらまつ 勝康									

広報委員会

委員長 秋家 聡明
 副委員長 平田 洋子
 委員 上原 みつよし
 委員 中江 秀夫
 委員 大高 拓
 委員 かわごえ 誠一
 委員 佐々木 隆

(区議会事務局)

次の「かつしか区議会だより」は7月発行予定です